

平成28年度の入学者選抜について

大阪府立長野北高等学校

①アドミッションポリシー(求める生徒像)

本校は、地域から信頼され必要とされる「地域に根ざした身近な府立高校」づくりのため「南河内の星」すなわち地域のリーダーを育てる学校づくりを行っています。その基礎となる生徒育成目標として「何事にもあきらめずに自信を持って生き、人としての行うべき義務、主張する権利を理解した善良な市民として活躍できる生徒の育成を図る」を掲げながら、互いの意志を尊重しあう風土を醸成することを基本として心の絆を強めあい、互いを尊重できる良好なコミュニケーション力を育て、学び合い高め合う関係をめざしています。

- 1) 学級活動、学校行事、部活動、地域交流活動に積極的に参加し、常に自分を高めようとする生徒
- 2) 学ぶ喜びと将来への希望を持ち自らの得意分野に取り組み夢に向かって挑戦する生徒
- 3) 学校生活を大切に模範となる市民として成長するために役立つ知識や態度を身につけようとする生徒
- 4) 地域の歴史、自然、文化に学び郷土を愛する力を身につけようとする生徒

②学力検査問題の種類並びに学力検査の成績及び調査書の評定にかける倍率

国語	数学	英語
A	A	A

種類	特徴		
	国語	数学	英語
A (基礎的問題)	基礎的な内容の文章を正確に理解する力を問う問題や、国語に関する基礎的な知識を問う問題を中心に出题する。	基礎的な計算問題を出题するとともに、「数と式」、「関数」、「図形」、「資料の活用」の基礎的な事項についての理解を問う問題を中心に出题する。	基礎的な語彙・文法の理解を問う問題とともに、基礎的な内容の英文を読み取る力を問う問題を中心に出题する。
B (標準的問題)	基礎的・標準的な内容の文章を正確に理解する力を問う問題を中心に、問われたことごとについて適切に表現する力を問う問題をあわせて出题する。	「数と式」、「関数」、「図形」、「資料の活用」の基礎的・標準的な事項についての理解を問う問題を中心に出题する。	基礎的な語彙・文法についての理解を問うたうえで、基礎的・標準的な内容の英文を読み取る力を問う問題を中心に出题する。
C (発展的問題)	標準的・発展的な内容の文章を正確に理解する力を問う問題とともに、問われたことごとについて適切に表現する力を問う問題を中心に出题する。	「数と式」、「関数」、「図形」、「資料の活用」の標準的・発展的な事項について、数学的に処理し判断する力を問う問題を中心に出题する。	標準的・発展的な内容の英文について話題や論理の流れに沿って読み取る力を問う問題とともに、問われたことごとについて適切に表現する力を問う問題を中心に出题する。

倍率のタイプ：Ⅱ

倍率のタイプ	学力検査の成績にかける倍率	調査書の評定にかける倍率	参 考		
			学力検査の満点	調査書の満点	総合点
I	1.4倍	0.6倍	315点	135点	450点
Ⅱ	1.2倍	0.8倍	270点	180点	
Ⅲ	1.0倍	1.0倍	225点	225点	
Ⅳ	0.8倍	1.2倍	180点	270点	
V	0.6倍	1.4倍	135点	315点	

公立高校の入学者選抜方法については、下記の大阪府教育委員会のホームページにも掲載されています。

大阪府教育委員会 教育振興室 高等学校課

公立高等学校入学者選抜のページ

<http://www.pref.osaka.jp/kotogakko/gakuji-g3/index.html>